



メアンダー川に掛かる橋は500年前の歴史遺産であり、創業者の綿畑への入り口でもある。メアンダー71のロゴにも使われている。

オリジナルの糸や素材の開発はソクタスの優れている点でもある。新しいプレミアムな超張綿はトルコのコットンリサーチインスティテュート(Cotton Research Institute of Turkey: トルコ綿素材研究機関)との共同開発で生まれ、創業者の畑で栽培されている。そして美しく洗練された繊維に紡がれ、ソフトでシルキーな手触りを持つ素晴らしい生地へと織られていく。この新しい革命的な素材は、ソクタスの創業の地でもあり、コットンの発祥の地として伝えられるメアンダーバレイにちなんで『メアンダー71』と名付けられた。末尾の数字71は、ソクタスの創業年度1971年に由来する。メアンダー71は、肥沃な土壌で生まれた繊細な糸から作られる素晴らしい素材となり、環境への影響を抑えた完全な一貫管理によるコットンの生産サイクルを生み出している。



創業者 Muzaffer Kayhan



優れたコットン(綿花)を創造、生産することから生地作りをスタートさせたメアンダー71。①メアンダー71の種を蒔き、②豊かに育まれた土壌に綿花が咲きほこり、③やさしく綿を包み込む貴重なコットンボールが育ち、④ソクタスのDNAを引き継ぐメアンダー71ができて上がる。素晴らしいシャツ生地を生み出すこの綿花の形が現在のソクタスのコーポレートロゴになっている。

Information



伊勢丹新宿店メンズ館、日本橋三越でも取り扱いがスタート

この秋から、伊勢丹新宿店メンズ館と日本橋三越にて、ソクタスのエクスクルーシブの生地を使用したオーダーシャツが登場。エクスクルーシブの生地にはすべてメアンダー71のセルビッチが入る。目の肥えたバイヤーたちを納得させたソクタスのメアンダー71で、自分だけのスペシャルなシャツを味わって欲しい。



世界のブランドが注目する ソクタスのシャツファブリック



1971年にトルコのソークで誕生した生地メーカー、ソクタス。紡績から染色、生産、仕上げまでを完全に一貫した管理のもとで行っており、多くの世界の著名ブランドの隠れたパートナーでもある。ソクタスは、コットンを中心としたシャツ素材と新しく展開するジャケット・パンツ素材のデザインと生産を担うスペシャリストであり、優れた素材を的確なニーズに合わせて提供する。世界的な名声を築いている。さらに、トルコで原綿から紡績まで一貫した新しいクオリティとなる超張綿『メアンダー71』を開発した。